

静岡県月例経済報告

(平成28年5月号)

……平成28年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 481

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成28年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成28年3月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、弱めの動きとなっている。
- ・ 生産は、減少傾向にある。

需 要 面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(3月)は、百貨店が前年を下回ったものの、スーパーが4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(3月)は、家電大型専門店が2か月連続、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、ドラッグストアで前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(3月)は、乗用車が2か月連続、軽自動車が15か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも24か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(3月)は、持家が4か月ぶり、貸家が3か月連続、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(3月)は、4か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年4月1日)の28年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業で減少する計画となっており、全産業でも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(3月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎輸出は、弱めの動きとなっている。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(3月)は、原動機が10か月連続、科学光学機器が13か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコンが3か月連続、自動車は11か月連続、自動車の部分品が8か月連続、二輪自動車類が7か月連続で前年実績を下回ったことから、全体では2か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額(3月)は、自動車の部分品やパルプが前年実績を下回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,017億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、減少傾向にある。

鉱工業生産指数(2月)は、電気機械、パルプ・紙・紙加工品が2か月ぶり、化学が9か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、食料品・たばこが4か月ぶり、輸送機械が12か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも3か月連続で前年水準を下回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(2月)は、総合では12か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(3月)は1.27倍で、前月を0.02ポイント上回り、26か月連続で1倍を上回った。また、16か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(3月)は、32か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(2月)は、前年と同水準となった。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(3月)は、前年同月比2.5%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(3月)は、前年同月比19.1%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を下回った。

企業倒産(4月)は、件数は12件で前年同月比52.0%減、負債総額は前年同月比57.4%減となり、いずれも前年実績を下回った。

2016グッドデザインしずおか

応募製品募集のお知らせ

募集期間

平成28年5月20日(金)～7月29日(金) (必着)

「デザイン」は色や形、技術や機能といった「モノ」だけでなく、仕組みやシステムといった「コト」に広がっており、私達の生活はデザインに囲まれています。以前からのづくりが盛んな静岡県では、日用品から産業機械まで様々な分野の製品が開発・生産されていますが、近年では、商品の外観はもちろん、パッケージや販促物といったトータルな「モノのデザイン」により新しい使用体験を提供する「コトのデザイン」が増えています。

「グッドデザインしずおか」は、静岡県内の中小企業等が企画段階から流通段階までの間に、戦略的に「デザイン」を活用した製品を選定・顕彰する事業であり、今年で23回目となります。

グッドデザインしずおかの流れ

5/20(金)～7/29(金)	8月下旬～10月上旬	11月7日(予定)	
1 応募	2 審査 (大賞を除く)	3 表彰式 大賞選出	4 受賞者へのサポート
応募者を募集します	一次審査・二次審査の2段階で審査します	各受賞製品を表彰。大賞は当日投票で決定します	アドバイス会への参加やパンフレットの作成など多くの支援を予定しています
<p>○募集対象</p> <p>県内で開発又は生産している製品</p> <p>(日用品・家電・産業機器設備・建築など、有形のものデザイン。販売又は販売を予定しているもの)</p> <p>○応募方法</p> <p>応募票に必要事項を記入のうえ、補足資料を同封し、別記申込先・問合せ先へ持参していただくか、郵便又はE-mailでお送りください。</p> <p>○費用</p> <p>応募は無料です。</p> <p>※二次審査以降の応募品の搬入に要する費用及び交通費は応募者の負担とします。</p>	<p>○一次審査 (8月下旬予定)</p> <p>審査員による書類審査を行います。</p> <p>○二次審査 (9月下旬予定)</p> <p>審査員と応募者の質疑応答による審査を行います。</p>  <p>▲昨年度の様子</p>	<p><<大賞の選出方法>></p> <p>金賞の受賞者を対象に、表彰式当日、アピールポイント等を5分程度でプレゼンテーションしていただきます。その後、審査員及び聴講者による投票で選出します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>各賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大賞(県知事賞) ……1点 ○金賞 ……数点 ○ユニバーサルデザイン賞 ○マネジメント賞 ○文化賞 ○技術賞 ○奨励賞 ……各数点 </div>	<p>○流通アドバイス会</p> <p>販路開拓の専門家に個別でアドバイスが受けられます。</p> <p>○パンフレット・チラシの作成</p> <p>○静岡県HPでの紹介</p> <p>○展示会出展</p> <p>首都圏で開催される展示会(東京国際ナショナルギフトショー春を予定)への出展を行います。</p>  <p>などを予定</p>

<申込み・問合せ先>

静岡県経済産業部商工業局 地域産業課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県庁東館7階

TEL : 054-221-2812 / FAX : 054-221-5002 / E-mail : chiikisangyo@pref.shizuoka.lg.jp

http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-560/chiikisangyo.html

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3 月 = 34,394百万円

*前年同月比： 0.5%増

(県内3百貨店、132スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は34,394百万円で、前年同月比0.5%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比1.4%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパー(同1.1%増)は4か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、飲食料品(同1.8%増)が12か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品(同2.8%減)が2か月ぶり、身の回り品(同3.6%減)が3か月ぶり、家庭用品(同5.7%減)が4か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
販売額(百万円)	34,957	32,396	34,291	33,803	42,800	37,052	32,077	34,394
前年同月比(%)	2.9	2.0	4.4	▲1.3	0.2	1.8	3.5	0.5
うち百貨店(%)	3.6	▲4.9	7.7	▲3.9	▲1.5	▲0.8	2.0	▲1.4
スーパー(%)	2.8	3.6	3.6	▲0.6	0.7	2.5	3.8	1.1
(参考1)全国前年同月比(%)	1.8	1.7	2.9	▲1.5	0.0	1.0	2.2	▲1.2
うち百貨店(%)	2.7	1.9	4.2	▲2.6	0.3	▲1.5	0.5	▲2.8
スーパー(%)	1.4	1.6	2.3	▲0.9	▲0.2	2.4	3.1	▲0.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.8	0.3	3.0	▲2.6	▲0.4	2.4	4.8	0.5

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
衣料品	1.2	▲7.2	5.5	▲8.0	▲5.2	▲1.2	2.2	▲2.8
うち紳士服・洋品	3.3	▲7.0	5.4	▲9.0	▲7.8	▲2.1	5.9	1.5
婦人・子供服・洋品	0.3	▲7.4	5.0	▲7.7	▲3.6	▲1.6	0.0	▲4.7
身の回り品	7.9	▲0.2	8.5	▲6.6	▲2.0	1.1	0.2	▲3.6
飲食料品	2.8	4.3	3.7	0.8	2.2	3.1	4.3	1.8
家庭用品	3.2	▲0.5	8.5	▲0.1	0.3	6.4	6.8	▲5.7
うち家庭用電気機械器具	28.6	14.7	13.9	9.1	29.1	37.6	18.7	▲8.2

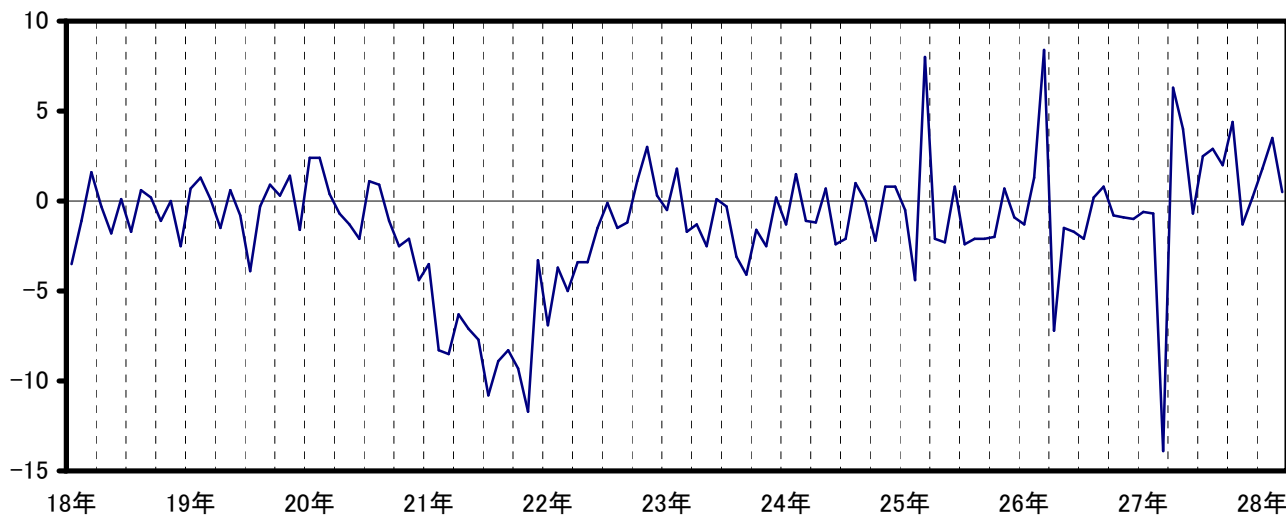
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

3月 = 6,827百万円

*前年同月比： 2.6%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

3月の県内3百貨店の販売額は6,827百万円で、前年同月比 2.6%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

品目別にみると、家庭用品（前年同月比 1.1%増）が3か月連続、食料品（同 1.5%増）が4か月連続、雑貨（同 4.4%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 7.9%減）が5か月連続、身の回り品（同 3.5%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
販売額（百万円）	5,317	5,356	6,365	6,563	9,026	6,971	5,540	6,827
前年同月比（%）	2.3	▲ 6.0	6.3	▲ 5.2	▲ 2.7	▲ 2.1	0.7	▲ 2.6
(参考)全国前年同月比（%）	2.7	1.8	4.2	▲ 2.7	0.1	▲ 1.9	0.2	▲ 2.9

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

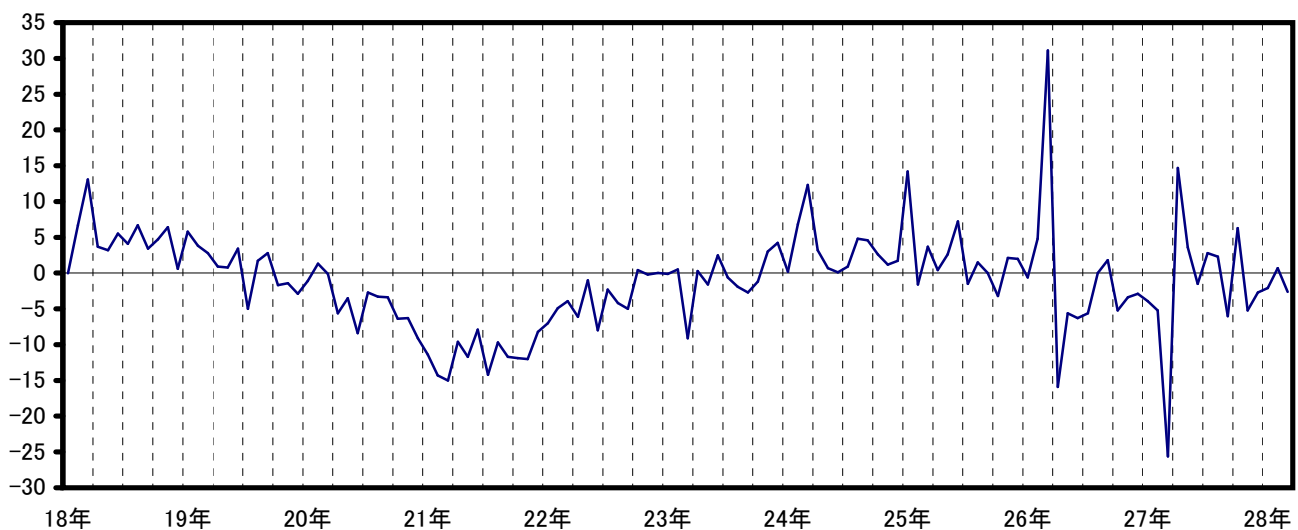
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
衣料品	▲ 4.9	▲ 13.5	1.8	▲ 12.3	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 6.6	▲ 7.9
うち紳士服・洋品	▲ 0.5	▲ 14.4	1.5	▲ 15.6	▲ 8.7	▲ 7.6	▲ 9.9	▲ 5.9
婦人服・洋品	▲ 5.5	▲ 13.6	2.1	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 6.7	▲ 5.1	▲ 9.1
子供服・洋品	▲ 12.0	▲ 6.1	▲ 2.0	▲ 16.8	▲ 7.3	▲ 10.0	▲ 16.4	▲ 10.4
身の回り品	5.8	▲ 5.4	9.8	▲ 6.1	▲ 0.8	0.6	▲ 0.5	▲ 3.5
家庭用品	▲ 9.7	▲ 11.6	15.7	▲ 2.9	▲ 15.3	2.3	4.2	1.1
食料品	▲ 1.0	▲ 2.3	3.6	▲ 2.4	0.7	3.2	3.4	1.5
雑貨	27.7	8.2	16.9	8.5	▲ 0.5	▲ 0.8	11.0	4.4
うち美術・宝飾・貴金属	55.2	24.3	9.7	10.8	▲ 5.8	▲ 20.3	5.2	0.0

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

3月 = 36,585百万円

*前年同月比： 0.6%増

(県内85家電大型専門店、445ドラッグストア、100ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は36,585百万円で、前年同月比0.6%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 5.5%減）が2か月連続、ホームセンター（同 1.8%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、ドラッグストア（同 5.3%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
販売額(百万円)	37,396	32,242	33,878	33,811	42,593	34,535	31,796	36,585
前年同月比(%)	3.8	1.6	7.3	0.6	2.4	5.9	5.5	0.6
うち 家電大型専門店(%)	6.5	▲ 4.6	3.9	▲ 6.3	▲ 5.0	5.1	▲ 0.6	▲ 5.5
ドラッグストア(%)	3.9	6.1	10.5	7.5	10.6	7.9	10.0	5.3
ホームセンター(%)	0.6	▲ 1.8	3.7	▲ 6.3	▲ 3.7	2.2	1.4	▲ 1.8
(参考)全国前年同月比(%)	7.8	4.0	6.8	1.9	1.1	5.1	4.8	0.4

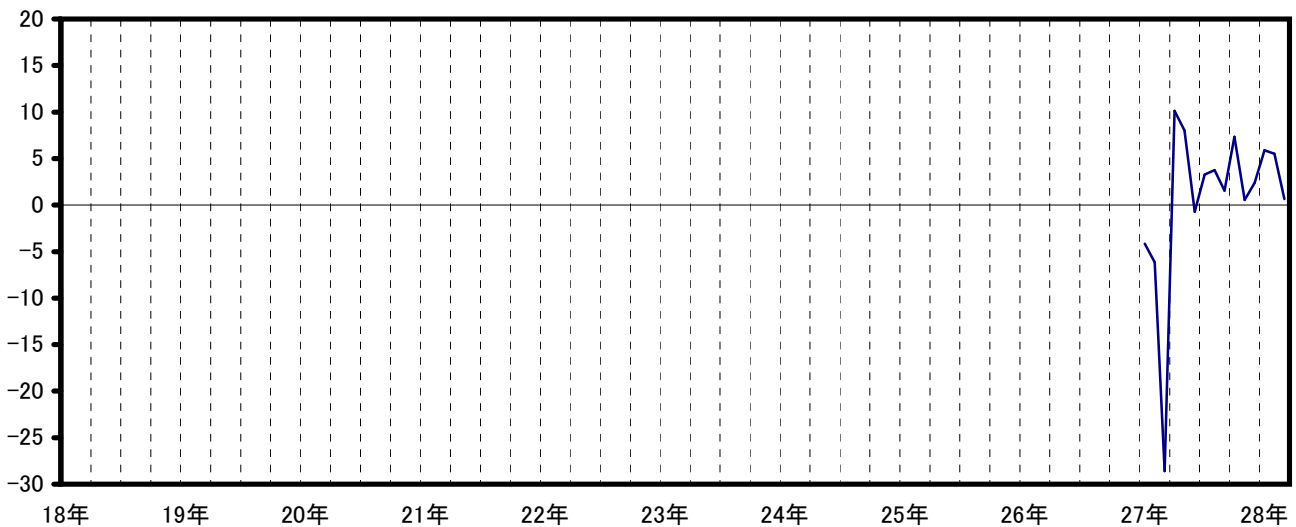
(注)販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数**3月 = 22,040台**

*前年同月比： 8.4%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は22,040台(前年同月比 8.4%減)となり、24か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 1.0%減)が2か月連続、軽自動車(同 16.1%減)が15か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
登録台数(台)	10,888	15,890	12,880	13,034	13,192	14,747	17,217	22,040
前年同月比(%)	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3	▲ 8.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.5	▲ 7.4	▲ 4.0	▲ 7.6	▲ 14.6	▲ 4.4	▲ 5.2	▲ 9.3

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

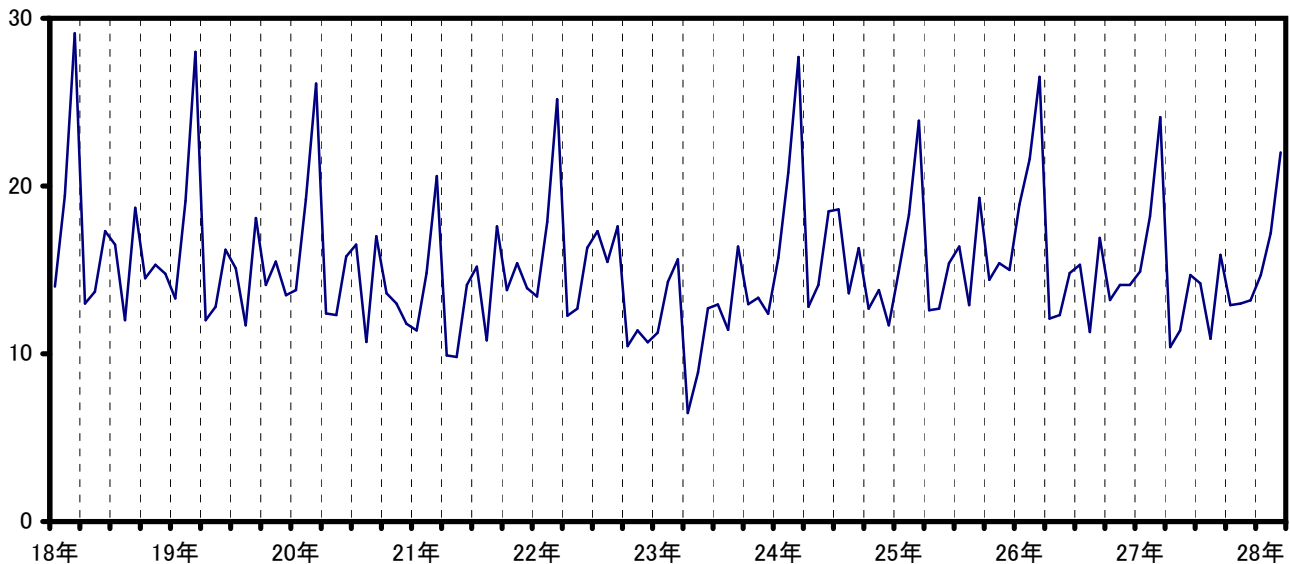
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
全乗用車	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3	▲ 8.4
乗用車	1.5	▲ 2.3	▲ 1.0	▲ 0.2	4.5	7.9	▲ 1.9	▲ 1.0
軽自動車	▲ 9.2	▲ 10.3	▲ 4.6	▲ 15.6	▲ 17.9	▲ 9.6	▲ 8.9	▲ 16.1

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,885戸

*前年同月比： 7.7%増

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,885戸で、前年同月比 7.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。
 利用関係別にみると、持家（前年同月比 2.0%増）が4か月ぶり、貸家（同 9.9%増）が3か月連続、分譲住宅（同 33.0%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

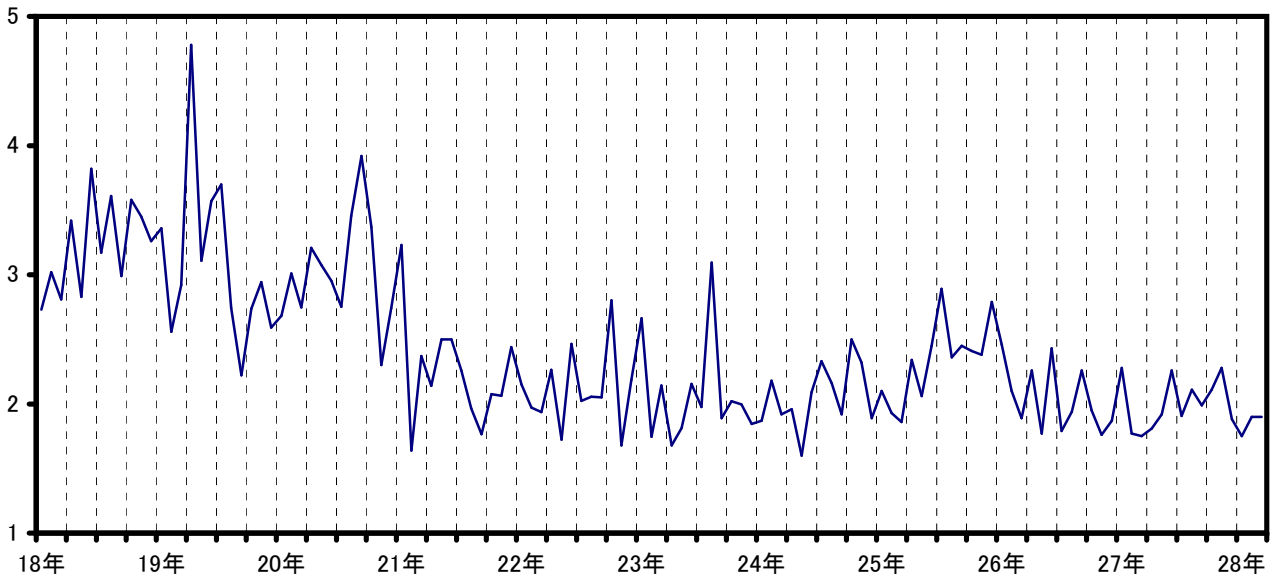
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
戸数 (戸)	2,105	1,987	2,114	2,280	1,883	1,753	1,895	1,885
前年同月比 (%)	8.3	▲ 12.1	8.2	29.8	0.6	▲ 23.0	7.0	7.7
うち持家 (%)	14.9	▲ 15.4	5.9	24.3	▲ 1.2	▲ 16.3	▲ 9.4	2.0
貸家 (%)	4.7	▲ 19.2	19.0	44.4	▲ 14.6	5.8	9.3	9.9
分譲住宅 (%)	1.5	7.3	▲ 1.7	17.7	31.2	▲ 63.6	55.8	33.0
(参考)全国前年同月比 (%)	8.8	2.6	▲ 2.5	1.7	▲ 1.3	0.2	7.8	8.4

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

3月 = 15,013百万円

*前年同月比： 0.7%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は15,013百万円で、前年同月比0.7%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は167件で、前年同月比8.7%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
金額(百万円)	25,705	34,060	32,163	15,778	15,359	8,963	6,499	15,013
前年同月比(%)	11.1	▲18.4	52.9	9.2	▲0.6	▲5.4	▲19.7	▲0.7
年度累計前年同月比(%)	▲9.4	▲11.3	▲5.2	▲4.3	▲4.0	▲4.1	▲4.6	▲4.4
件数(件)	792	1,134	940	744	805	441	159	167
前年同月比(%)	11.5	▲13.7	10.1	8.6	7.5	▲4.5	▲44.8	▲8.7
年度累計前年同月比(%)	▲4.2	▲7.0	▲4.3	▲2.8	▲1.7	▲1.9	▲3.5	▲3.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

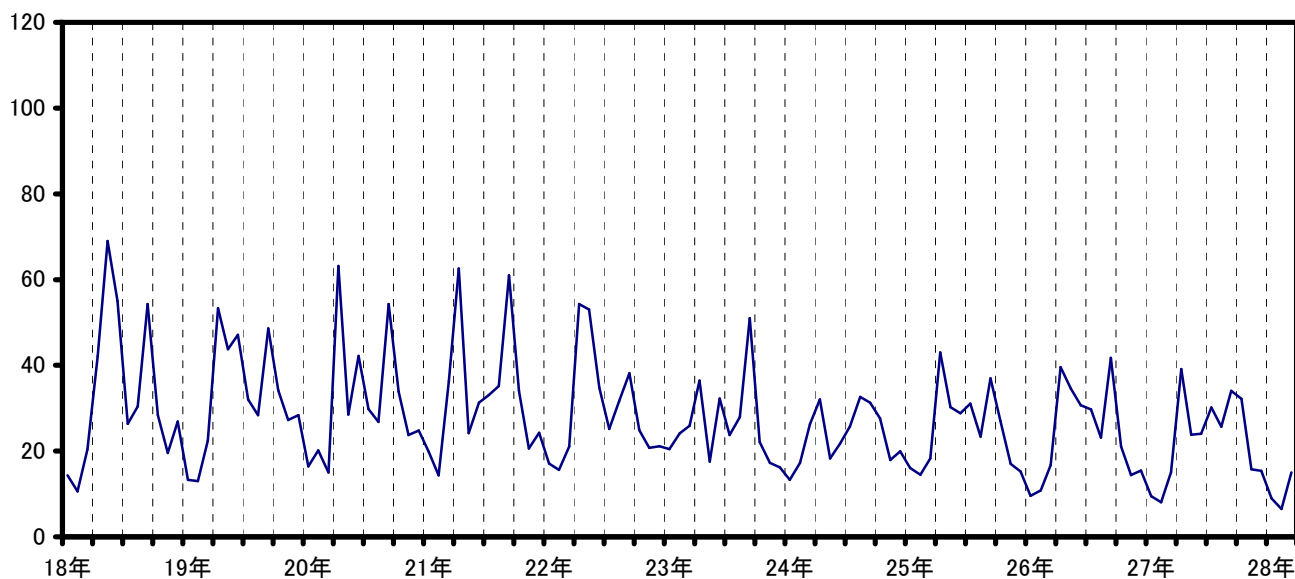
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
国	▲57.7	▲43.1	15.6	▲47.4	8.4	72.0	17.0	▲19.5
独立行政法人等	44.8	▲59.0	549.5	▲71.2	▲11.0	▲92.4	▲64.3	1,900.6
県	4.4	▲23.2	27.3	24.3	17.4	▲15.5	▲60.3	▲46.5
市町	35.6	▲5.7	37.2	27.3	▲0.5	18.1	▲10.6	▲17.6
地方公社	427.1	123.9	166.0	—	218.8	1,780.0	—	—
その他	59.6	15.9	355.4	4.2	▲46.1	▲45.6	87.8	90.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 23.6%増）、非製造業（同 8.8%増）ともに増加する計画となっており、全産業（同 16.2%増）でも増加する計画となっている。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 7.6%増）で増加、非製造業（同 9.2%減）で減少する計画となっており、全産業（同 0.2%減）でも減少する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は154,306㎡で、前年同月比 151.3%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		27年度 (計画)			28年度 (計画)					
		前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 (計画)	前回調査 比修正率	上期 (計画)	下期 (計画)		
全産業	県	16.2	▲ 2.4	13.6	0.4	18.3	▲ 4.4	▲ 0.2	9.9	▲ 8.1
	全国	8.0	0.2	5.7	—	9.8	▲ 0.2	▲ 4.8	6.3	▲ 13.2
製造業	県	23.6	▲ 4.0	22.4	0.9	24.4	▲ 7.1	7.6	30.2	▲ 7.7
	全国	10.8	▲ 1.3	7.0	—	13.8	▲ 2.3	▲ 0.9	13.5	▲ 11.7
非製造業	県	8.8	▲ 0.4	6.1	▲ 0.2	11.3	▲ 0.6	▲ 9.2	▲ 10.0	▲ 8.5
	全国	6.7	1.0	5.0	—	7.9	0.8	▲ 6.8	2.7	▲ 13.9

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年3月調査)」

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	90,364	126,652	143,311	110,179	86,797	143,745	82,939	154,306
前年同月比（%）	▲ 10.1	▲ 33.3	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 16.9	100.2	▲ 0.6	151.3
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 7.6	▲ 2.0	▲ 22.1	▲ 6.8	6.7	▲ 11.1	▲ 12.0	12.7

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年12月	28年3月	28年6月 (予測)
全産業	7	7	▲ 3
製造業	5	2	▲ 4
非製造業	9	11	▲ 2
（参考）全国・全産業	9	7	1

（注）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年3月調査)」

5 輸出

3月 = 179,312百万円

*前年同月比： 1.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は179,312百万円で、前年同月比 1.7%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 27.9%増）が10か月連続、科学光学機器（同 45.3%増）が13か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコン（同 19.1%減）が3か月連続、自動車（同 19.8%減）が11か月連続、自動車の部分品（同 4.8%減）が8か月連続、二輪自動車類（同 2.7%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 4.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、米国向け（同 5.9%増）、EU向け（同 12.1%増）いずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	159,175	169,382	172,316	154,196	179,516	143,606	168,867	179,312
前年同月比(%)	2.9	0.4	▲1.9	▲5.1	▲5.7	▲13.5	3.5	▲1.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
原動機	32.4	30.6	19.0	10.4	7.3	7.2	16.9	27.9
エアコン	▲16.0	▲13.9	▲15.5	20.4	22.9	▲24.2	▲11.0	▲19.1
自動車	▲29.9	▲44.8	▲25.0	▲29.2	▲19.2	▲46.5	▲25.9	▲19.8
自動車の部分品	▲10.7	▲12.3	▲10.3	▲4.4	▲3.9	▲20.4	▲4.8	▲4.8
二輪自動車類	10.7	▲19.8	▲24.2	▲37.1	▲27.2	▲22.9	▲3.1	▲2.7
科学光学機器	43.7	43.2	41.1	48.5	21.4	8.0	67.3	45.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
アジア	▲4.0	▲0.2	0.1	0.2	▲1.4	▲10.8	6.7	▲4.5
米国	1.8	2.6	▲4.8	▲7.0	▲20.7	▲5.2	4.3	5.9
EU	21.3	13.3	18.1	0.3	17.4	▲20.2	13.0	12.1

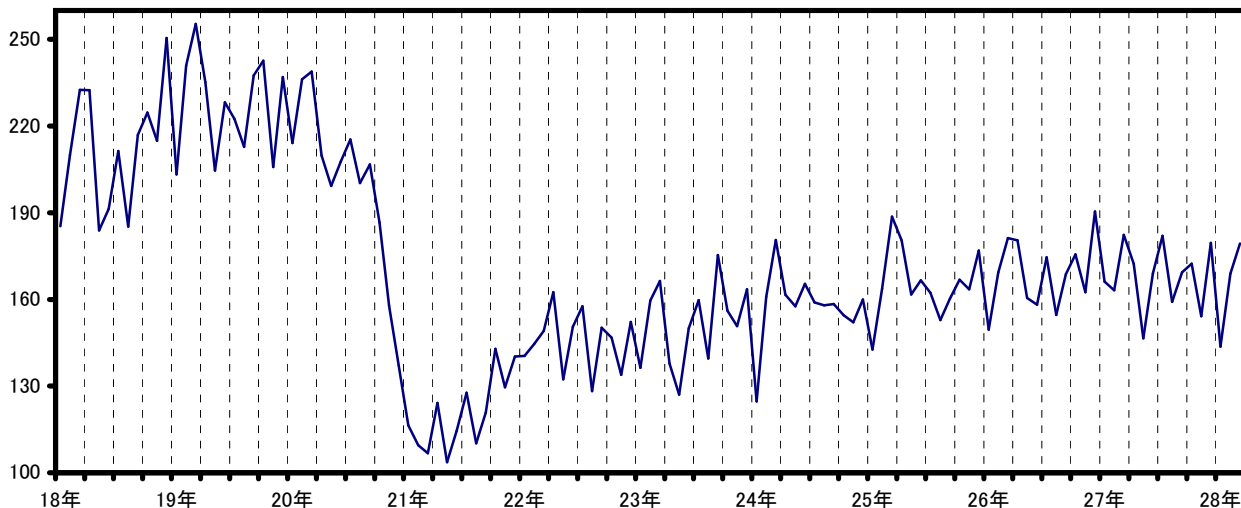
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

3月 = 77,656百万円

*前年同月比： 11.0%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は77,656百万円で、前年同月比 11.0%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 42.7%増）が5か月連続、魚介類（同 10.0%増）が6か月ぶり、原動機（同 99.8%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、木材（同 10.1%減）、パルプ（同 29.7%減）がいずれも3か月連続、自動車の部分品（同 36.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 5.9%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、米国から（同 10.1%減）が3か月ぶり、EUから（同 20.4%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	78,845	81,475	84,964	81,618	78,322	86,528	76,376	77,656
前年同月比(%)	0.2	▲7.8	▲3.8	8.2	▲18.4	▲11.2	▲10.7	▲11.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
魚介類	▲3.9	7.9	▲18.1	▲1.0	▲0.1	▲2.9	▲0.4	10.0
木材	▲6.8	▲14.2	▲35.8	▲5.2	21.6	▲11.0	▲12.9	▲10.1
パルプ	61.5	▲26.2	22.5	35.4	10.5	▲15.3	▲13.4	▲29.7
紙類及び同製品	7.4	▲17.7	▲5.1	23.9	32.2	23.4	24.9	42.7
原動機	▲0.2	17.8	▲10.9	0.0	▲27.1	▲1.4	▲51.6	99.8
自動車の部分品	▲26.3	▲12.0	12.6	▲18.6	▲1.5	4.5	▲42.4	▲36.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

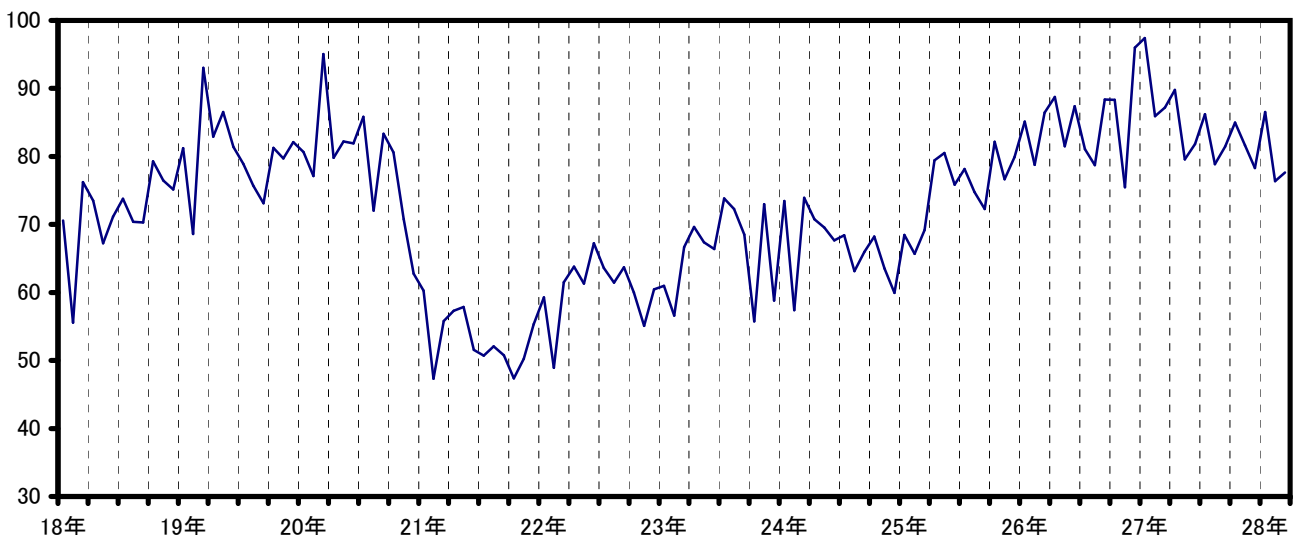
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
アジア	5.7	▲12.0	4.8	2.6	▲8.7	▲7.2	▲11.6	5.9
米国	4.0	▲26.0	41.5	80.8	▲33.1	17.2	4.7	▲10.1
EU	▲7.3	▲8.8	▲19.8	2.3	8.5	▲6.0	▲10.1	▲20.4

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

2月 = 90.2

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.9%減

*前年同月比(原指数) : 4.9%減

<概況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は90.2(季節調整済指数)で、前月比2.9%減となり、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は4.9%減と3か月連続で前年を下回った。
業種別にみると、電気機械(前年同月比4.5%増)、パルプ・紙・紙加工品(同1.4%増)がいずれも2か月ぶり、化学(同18.4%増)が9か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同13.4%減)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同0.3%減)が4か月ぶり、輸送機械(同21.0%減)が12か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
指数	90.0	89.9	90.3	90.1	90.2	89.8	92.9	90.2
前月比(%)	▲2.9	▲0.1	0.4	▲0.2	0.1	▲0.4	3.5	▲2.9
前年同月比(%)	▲3.9	▲1.9	▲2.1	▲4.6	0.3	▲2.3	▲5.0	▲4.9
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	0.2	▲0.9	▲1.4	1.6	▲1.6	▲3.8	▲1.5

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲10.8	▲3.8	▲9.7	▲0.1	12.4	▲3.5	0.8	▲13.4
電気機械工業	▲4.2	▲4.8	3.5	▲2.0	7.7	0.2	▲2.8	4.5
輸送機械工業	▲11.0	▲10.7	▲11.4	▲16.2	▲13.1	▲16.0	▲18.7	▲21.0
化学工業	7.9	13.5	9.7	10.7	15.5	17.0	14.5	18.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.0	3.3	1.1	▲1.0	▲0.6	0.8	▲1.5	1.4
食料品・たばこ工業	7.5	9.7	10.4	▲1.1	3.2	8.5	0.9	▲0.3

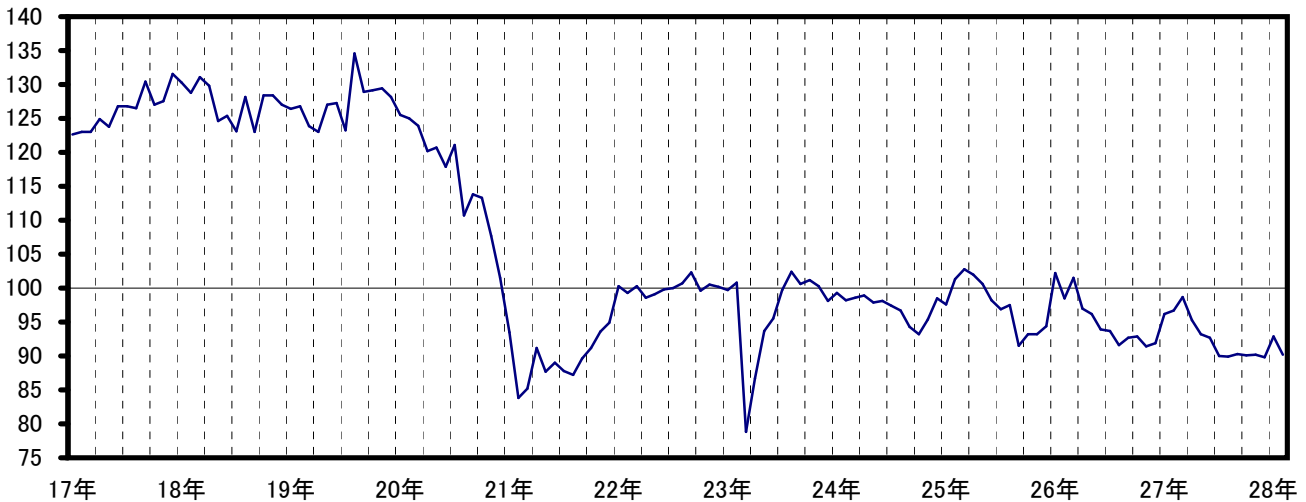
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

2月 = 123.3

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.8%増

*前年同月比(原指数) : 19.0%増

<概況>

2月の鋳工業在庫指数(総合)は123.3(季節調整済指数)で、前月比は2.8%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は19.0%増と12か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比3.0%減)が11か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同23.2%増)が26か月連続、輸送機械(同69.1%増)が13か月連続、化学(同17.3%増)が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同10.0%増)が6か月連続、食料品・たばこ(同7.6%増)が5か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
指数	115.2	116.6	116.8	120.4	119.6	120.5	119.9	123.3
前月比(%)	▲3.1	1.2	0.2	3.1	▲0.7	0.8	▲0.5	2.8
前年同月比(%)	5.3	8.2	11.3	16.1	16.4	18.9	21.2	19.0
(参考)全国前年同月比(%)	2.7	2.2	2.0	0.2	▲0.5	0.0	0.2	▲0.9

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲8.0	▲1.7	▲7.0	▲5.4	▲6.9	▲7.8	▲10.3	▲3.0
電気機械工業	20.5	16.9	26.0	17.1	25.7	20.7	24.4	23.2
輸送機械工業	57.9	73.6	104.6	114.2	113.3	160.2	130.7	69.1
化学工業	▲6.6	3.5	10.0	17.6	9.8	14.7	11.5	17.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.4	▲0.3	3.0	6.1	6.4	11.8	13.5	10.0
食料品・たばこ工業	6.9	▲1.8	▲7.9	3.2	6.5	7.1	6.3	7.6

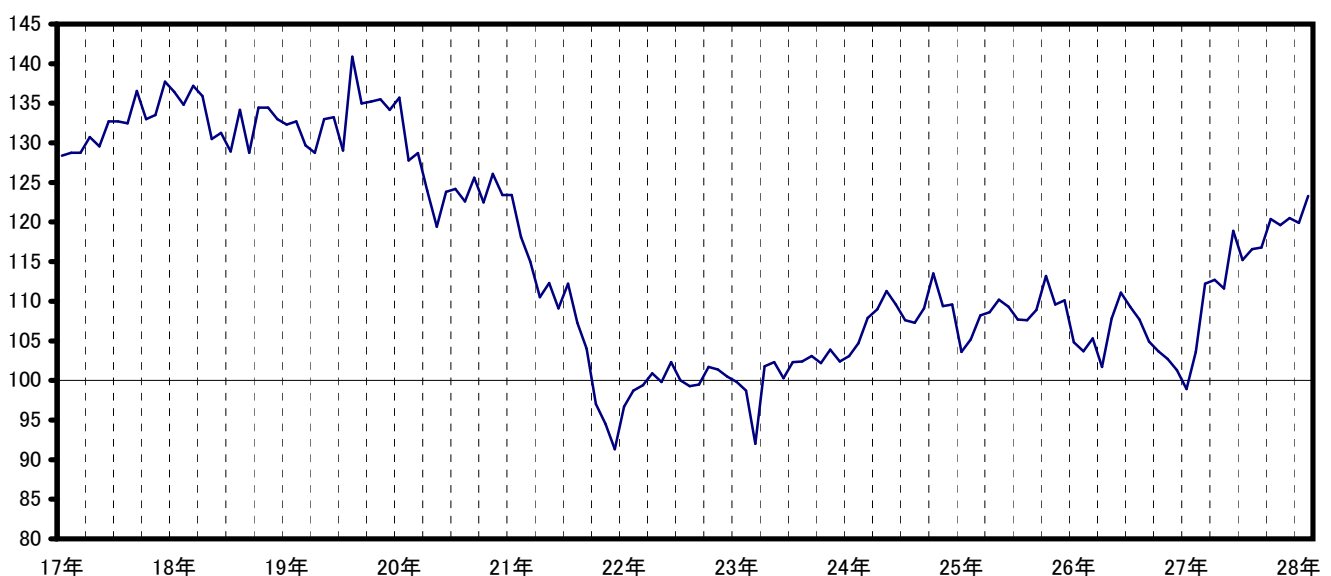
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3 月 = 1.27倍

*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

3月の有効求人倍率 (季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む) は 1.27倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、16か月連続で全国値を下回った。新規求人 (学卒、パートタイムを除く) (前年同月比 7.9%増) は2か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業 (前年同月比 17.9%減)、運輸業・郵便業 (同 0.6%減)、医療・福祉 (同 1.9%減) で前年実績を下回ったものの、サービス業 (他に分類されないもの) (同 11.4%増)、建設業 (同 11.0%増)、卸売業・小売業 (同 28.0%増)、製造業 (同 11.0%増) で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
県	1.18	1.20	1.23	1.24	1.25	1.24	1.25	1.27
全 国	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
建 設 業	0.1	10.7	2.4	2.0	14.1	▲ 5.1	0.8	11.0
製 造 業	3.5	▲ 3.2	▲ 0.7	6.7	4.6	9.5	4.6	11.0
情 報 通 信 業	17.5	1.8	21.4	▲ 17.2	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 13.1	▲ 17.9
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 9.7	3.8	5.1	0.8	13.3	▲ 9.4	8.0	▲ 0.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 28.4	▲ 2.1	▲ 1.3	10.5	17.5	18.9	59.3	28.0
医 療 ・ 福 祉	13.1	▲ 6.5	▲ 12.5	▲ 2.2	▲ 10.0	▲ 16.9	9.8	▲ 1.9
サービス業 (他に分類されないもの)	2.9	20.4	11.5	0.3	24.8	▲ 13.6	▲ 5.3	11.4
合 計	0.4	3.5	▲ 1.2	3.2	6.5	▲ 5.1	11.1	7.9

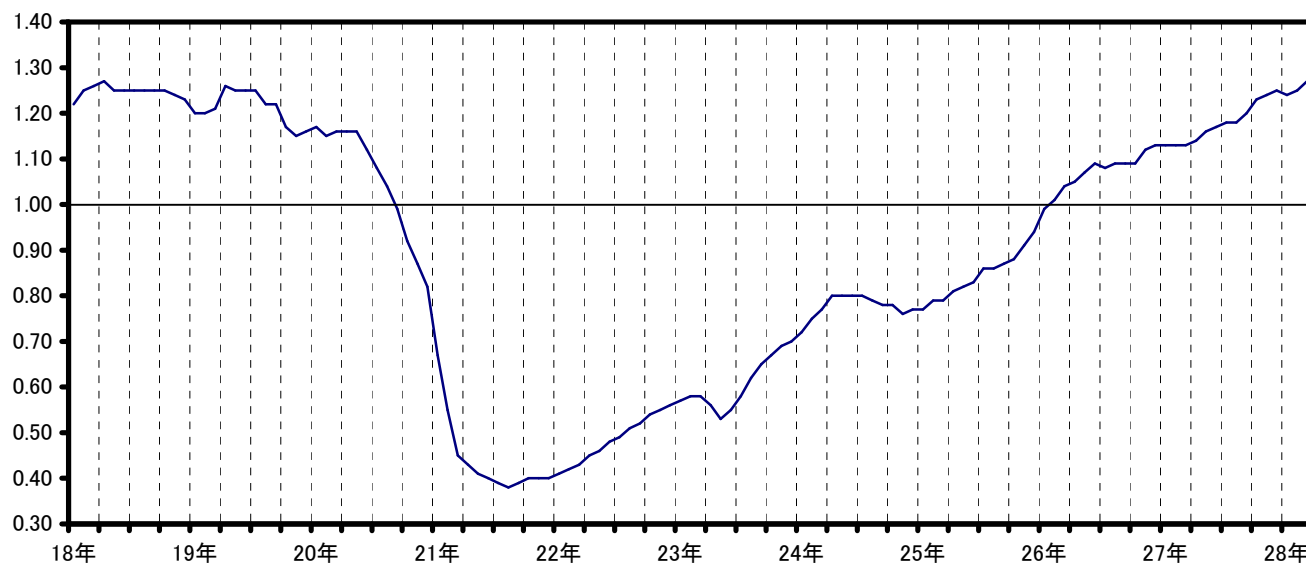
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率 (学卒を除き、パートタイムを含む) (倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 11,671人

*前月比: 3.1%減

*前年同月比: 9.8%減

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は11,671人で、前月比は3.1%減と2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は9.8%減と32か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.2%で、前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(平成27年10~12月)の完全失業率は2.6%で、前期(27年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
実人員(人)	14,815	14,542	13,753	12,991	12,320	12,525	12,042	11,671
前月比(%)	▲1.0	▲1.8	▲5.4	▲5.5	▲5.2	1.7	▲3.9	▲3.1
前年同月比(%)	▲5.1	▲6.4	▲12.1	▲8.3	▲11.0	▲10.1	▲8.7	▲9.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.9	▲7.1	▲7.3	▲3.4	▲6.3	▲6.2	▲4.6	▲6.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2

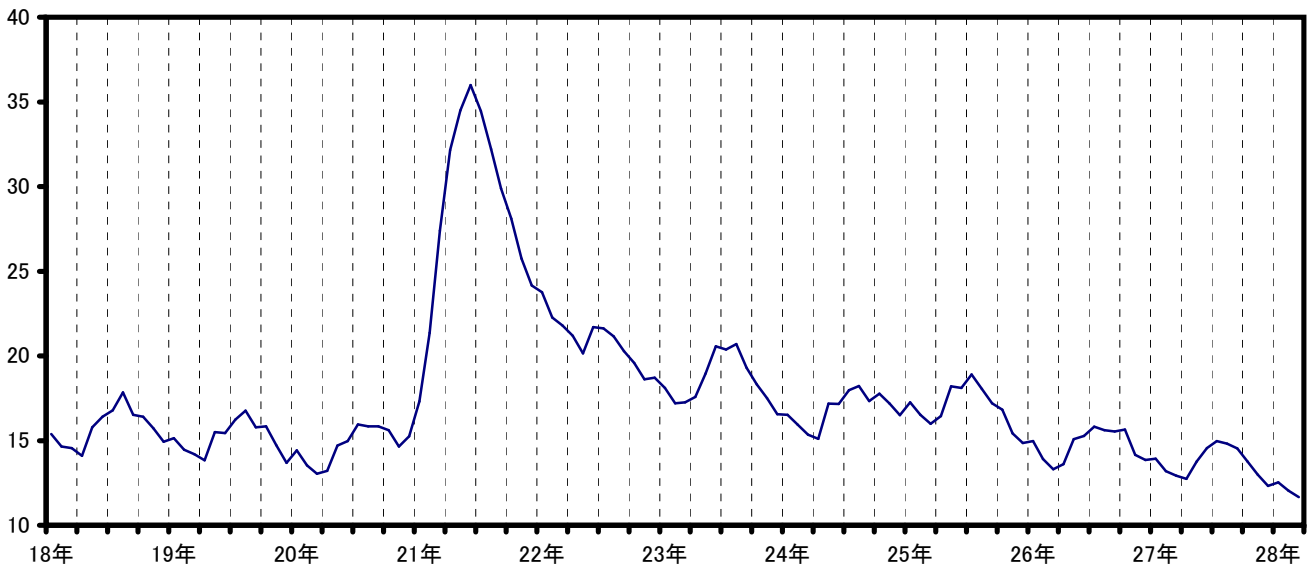
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

2月 = 111.5

*前月比(季節調整済指数): 2.7%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 同水準

<概況>

2月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は111.5(季節調整済指数)で、前月比2.7%増となった。また、前年同月比(原指数)は同水準となった。

業種別にみると、建設業(前年同月比31.5%減)、運輸業・郵便業(同1.6%減)、医療・福祉(同13.9%減)がいずれも3か月連続、卸売業・小売業(同11.0%減)が13か月連続、製造業(同3.9%減)が2か月連続、情報通信業が(同7.8%減)が11か月ぶりに前年水準を下回ったものの、その他のサービス業(同6.4%増)で4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
指数	104.5	104.7	111.8	113.7	113.0	111.0	108.6	111.5
前月比(%)	▲1.5	0.2	6.8	1.7	▲0.6	▲1.8	▲2.2	2.7
前年同月比(%)	4.1	▲2.1	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.5	0.2	1.0	0.0	0.8	▲1.5	▲3.1	▲1.6

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
建設業	▲7.1	▲21.1	9.9	8.8	8.6	▲5.4	▲31.6	▲31.5
製造業	6.6	6.7	6.3	11.2	9.1	0.4	▲1.1	▲3.9
情報通信業	69.3	7.9	23.4	10.3	59.3	55.0	32.4	▲7.8
運輸業・郵便業	▲6.4	0.4	▲9.1	▲1.0	1.4	▲0.3	▲10.6	▲1.6
卸売業・小売業	▲18.0	▲12.6	▲13.0	▲7.1	▲4.1	▲4.3	▲28.7	▲11.0
医療・福祉	18.0	20.1	▲7.6	36.7	38.4	▲20.9	▲19.4	▲13.9
その他のサービス業	▲14.1	▲23.0	15.9	▲9.0	2.6	15.6	6.5	6.4
調査産業計	4.1	▲2.1	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0

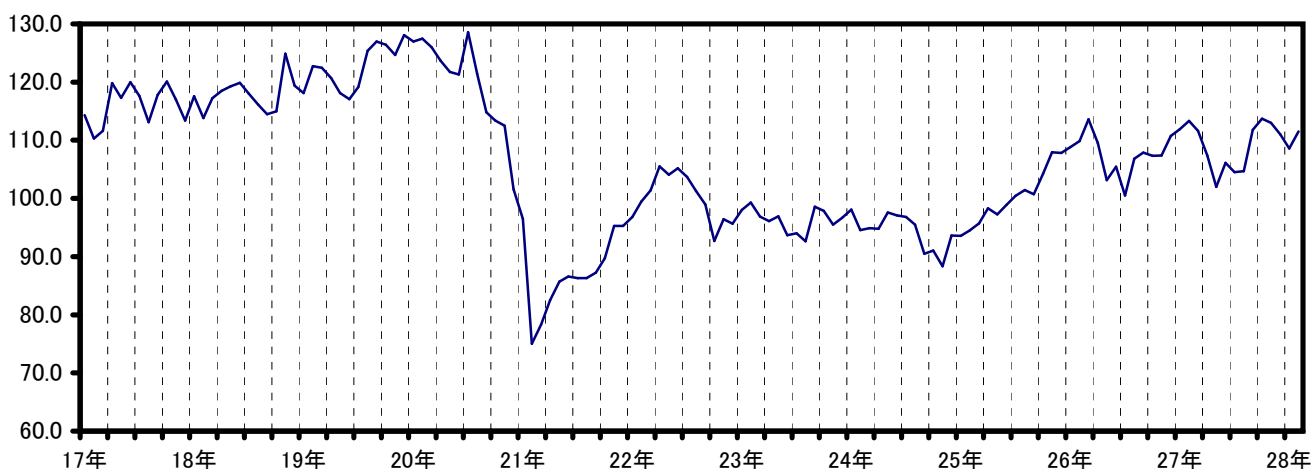
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

4 月 = 99.3

(平成22年=100)

*前 月 比: 0.3%下落

*前年同月比: 4.2%下落

<概 況>

4月の国内企業物価指数は99.3となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は4.2%の下落となった。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	102.1	101.4	101.3	101.0	100.0	99.7	99.6	99.3
前 月 比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.3
前年同月比 (%)	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 3.5	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 4.2

*平成22年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

3 月 = 138,097億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 1.8%増

*前年同月比: 2.5%増

<概 況>

3月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,097億円で、前月比は1.8%増、前年同月比は2.5%増となった。

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
貸出残高(億円)	132,356	134,850	133,704	134,046	137,340	136,096	135,700	138,097
前 月 比 (%)	0.0	1.9	▲ 0.8	0.3	2.5	▲ 0.9	▲ 0.3	1.8
前年同月比 (%)	1.4	1.6	2.0	1.7	2.8	2.8	2.6	2.5

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

3 月 = 2.145%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.019ポイント減

*前年同月差: 0.021ポイント増

<概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.145%で、前月から0.019ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.021ポイントのプラスとなった。

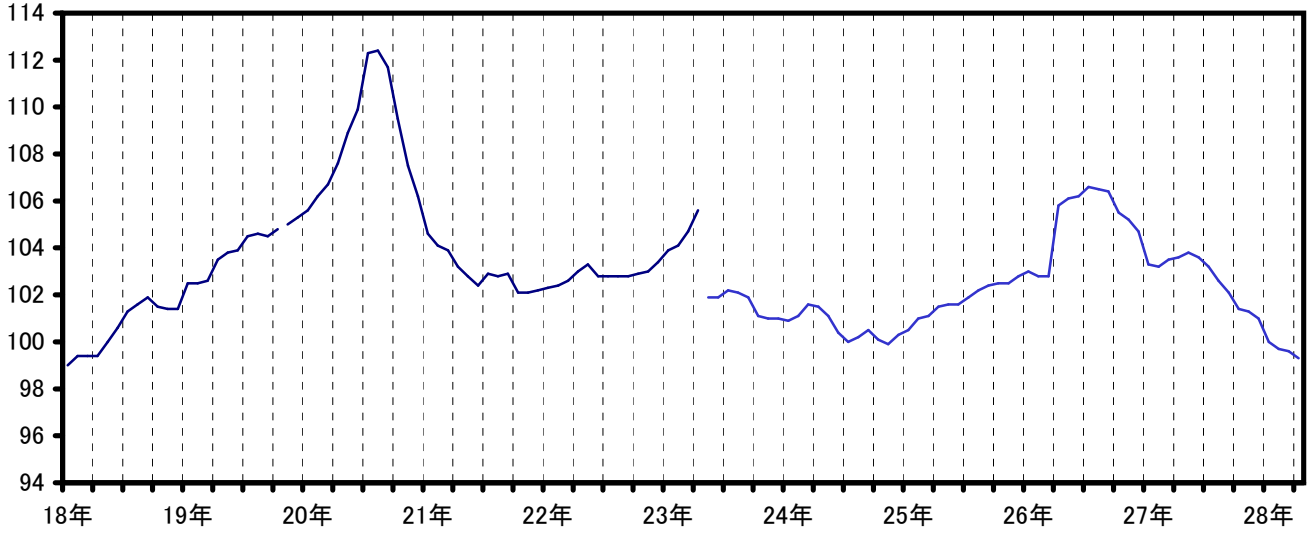
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
貸出約定金利(%)	2.162	2.148	2.166	2.168	2.150	2.159	2.164	2.145
前月差(ポイント)	0.003	▲ 0.014	0.018	0.002	▲ 0.018	0.009	0.005	▲ 0.019
前年同月差(ポイント)	0.050	0.039	0.042	0.042	0.032	0.028	0.022	0.021

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

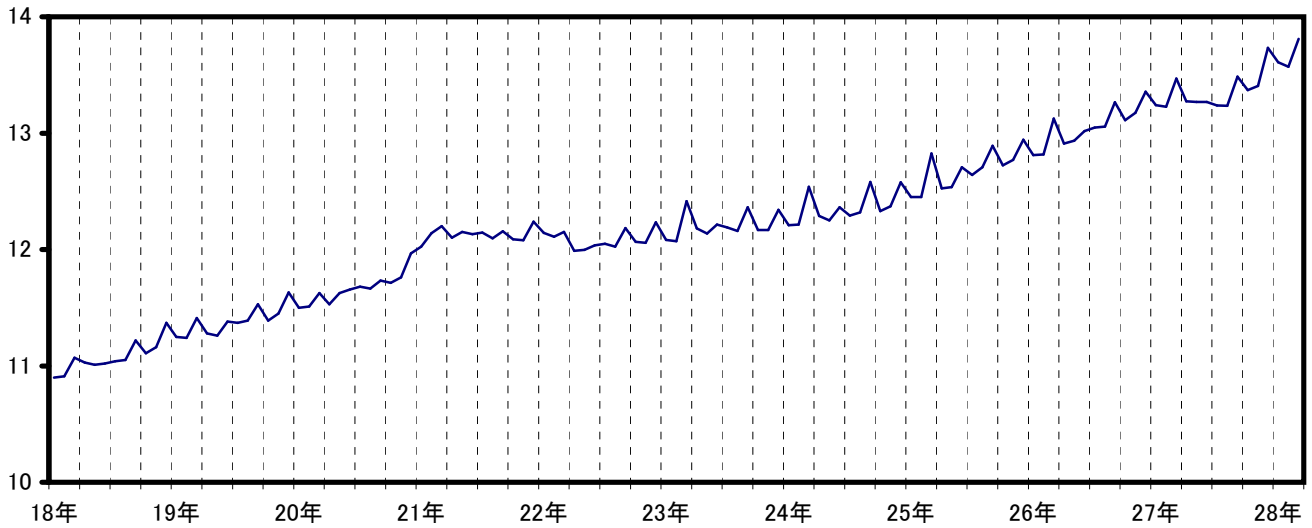
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



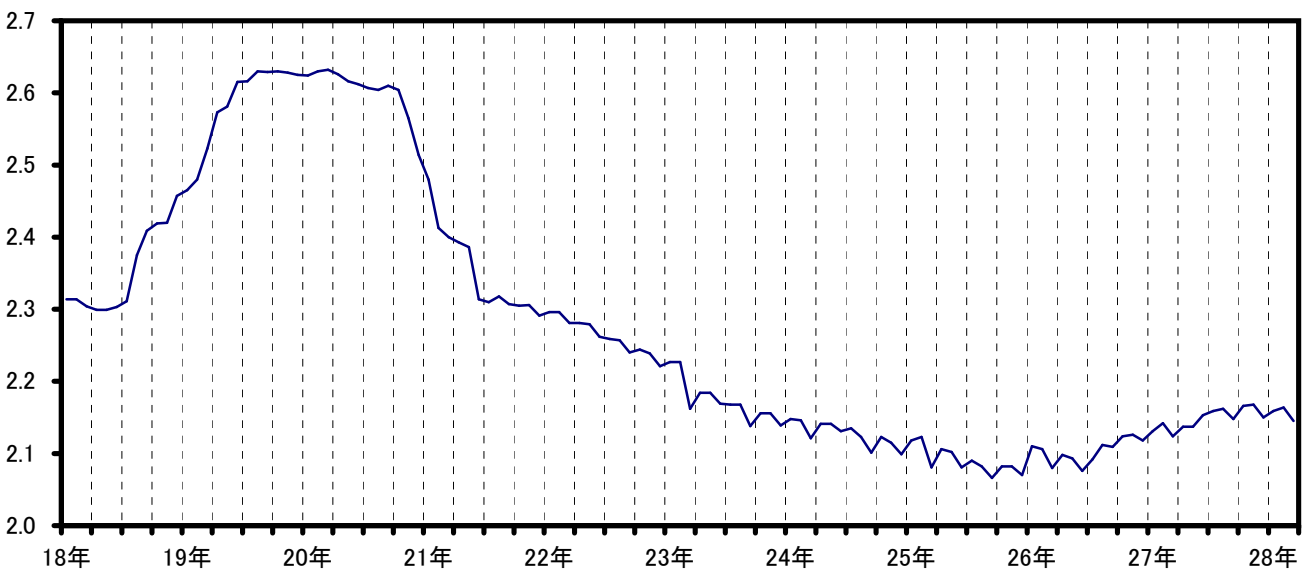
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 24,978百万円**

*前年同月比： 19.1%減

<概況>

3月の保証承諾は、金額が24,978百万円（前年同月比 19.1%減）と41か月連続で前年実績を下回り、件数は2,621件（同 18.5%減）と12か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	20,360	25,925	19,867	19,298	26,865	15,313	18,631	24,978
前年同月比（%）	▲ 5.8	▲ 2.3	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 12.6	▲ 18.2	▲ 12.0	▲ 19.1
保証件数（件）	2,233	2,635	2,142	2,015	2,647	1,694	2,029	2,621
前年同月比（%）	▲ 2.5	▲ 6.8	▲ 2.9	▲ 6.9	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 13.3	▲ 18.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 109.88円/ドル**

*前月差： 3.19円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 9.67円高

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は109.88円で、前月と比べて3.19円の円高となり、5か月連続の円高となった。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	120.22	120.06	122.54	121.84	118.25	115.02	113.07	109.88
前月差（円）	▲ 3.01	▲ 0.16	2.48	▲ 0.70	▲ 3.59	▲ 3.23	▲ 1.95	▲ 3.19
前年同月差（円）	13.13	12.00	6.32	2.44	0.01	▲ 3.55	▲ 7.32	▲ 9.67

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****4月 = 12件**

*前年同月比： 52.0%減

<概況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は12件（前年同月比 52.0%減）、負債総額は1,704百万円（同 57.4%減）となり、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が11件と全体の91.7%を占め、221か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

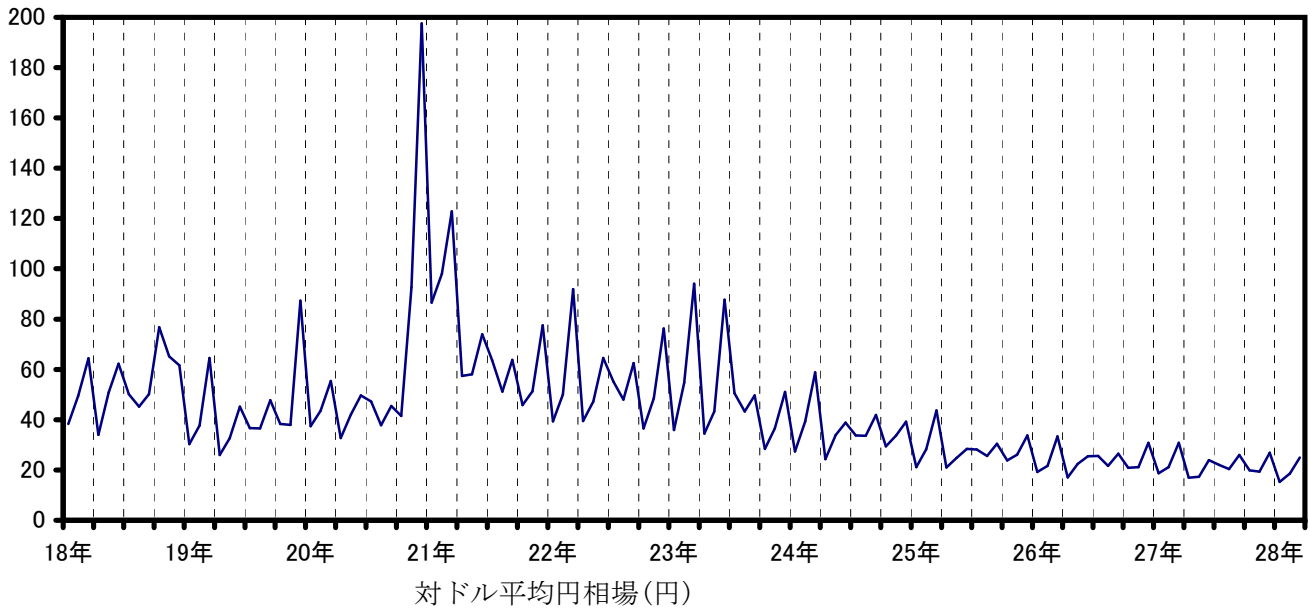
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
倒産件数（件）	27	18	24	19	19	27	25	12
前年同月比（%）	▲ 12.9	▲ 40.0	0.0	▲ 13.6	▲ 24.0	50.0	8.6	▲ 52.0
うち不況型倒産件数（件）	19	15	20	13	16	26	21	11
負債総額（百万円）	3,341	3,590	5,366	3,548	3,134	2,949	2,899	1,704
前年同月比（%）	▲ 56.5	12.7	82.8	▲ 11.6	▲ 51.0	50.0	▲ 2.8	▲ 57.4

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

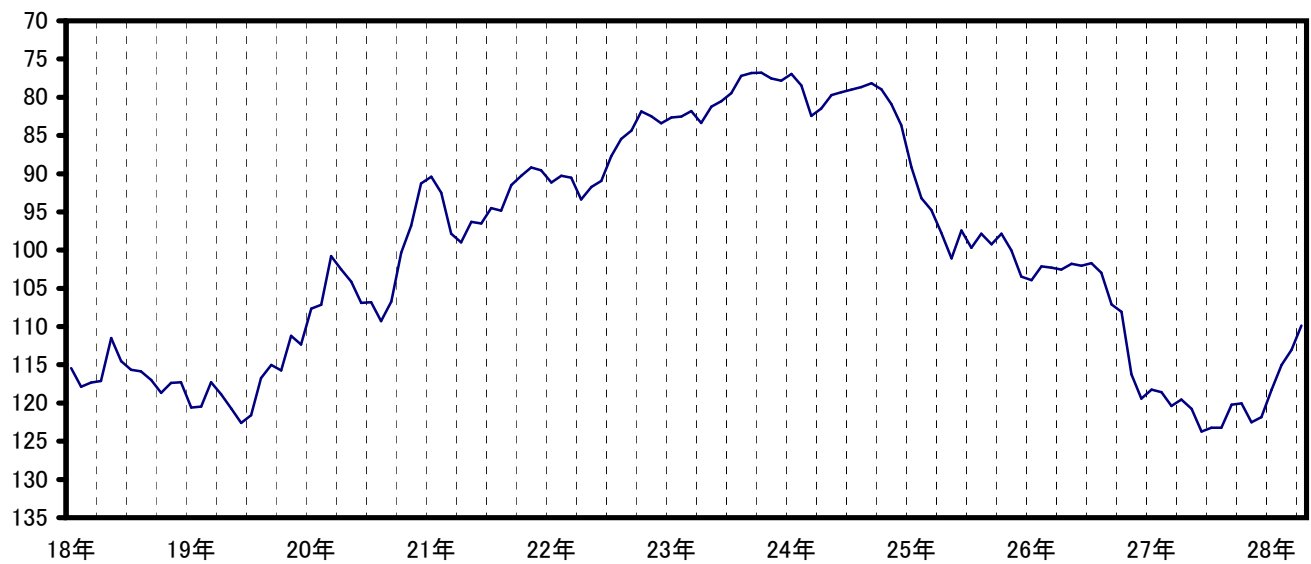
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

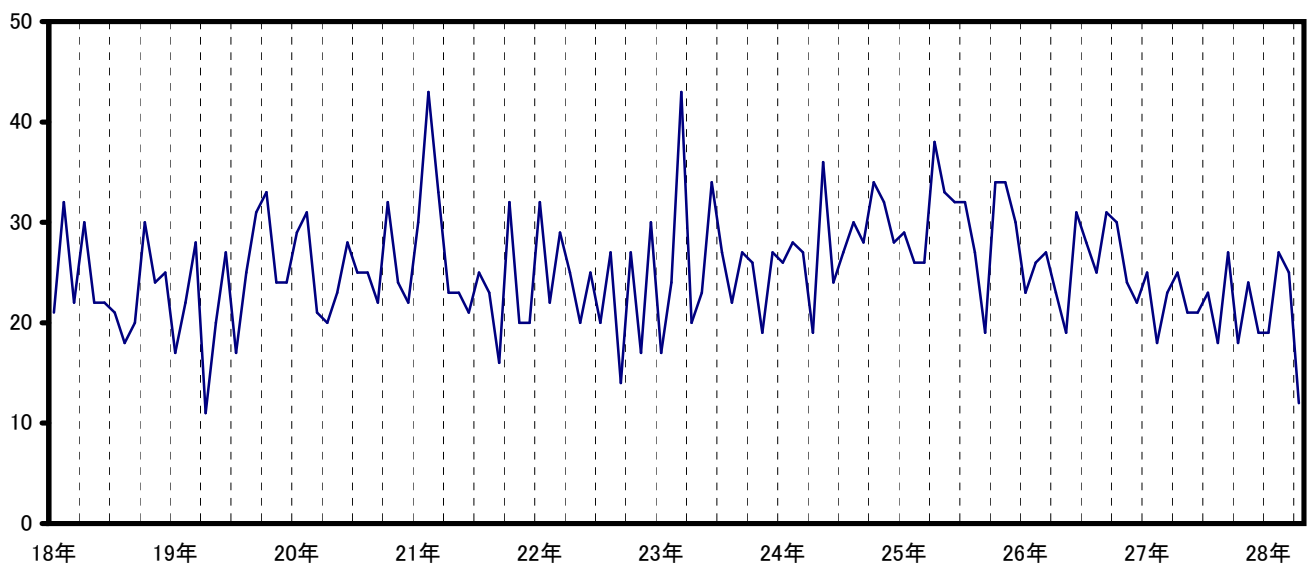


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成28年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>3月の国内二輪車生産台数は、58,222台（前年同月比 15.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は11,528台（同 68.6%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは40,345台（同 0.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>輸出は、北米向けが2か月ぶり、欧州向けが4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも51,059台（同 14.4%増）と、10か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>3月の自動車国内生産台数は889,501台（前年同月比 1.2%増）となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。また、輸出は404,004台（同 1.8%増）となり、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが11か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が4か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>輸出は、欧州向けが2か月ぶり、アジア向けが2か月連続、北米向けが3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は396億7,600万円（前年同月比 10.2%増）、国内出荷台数は421千台（同 4.1%増）となり、ともに3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは769千台（同 12.1%増）で、前年実績を上回った。業務用は74千台（同 12.4%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>2月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた携帯電話の国内出荷台数は、1,589千台（同 11.0%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、742千台（同 7.8%減）となり、単月のスマートフォン比率は46.7%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用 機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,161億8,500万円（前年同月比 21.2%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は649億2,500万円（同 29.3%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが253億6,600万円（同 50.0%減）と、前年同月の半分近くの額となった。内需は512億6,000万円（同 7.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>一方、県内中小企業からは、原油安により産油国経済が打撃を受け、中小企業への仕事量が減少しているため、中国の景気が予想以上に悪化しているように感じるとの声があった。また、急速な円高や新興国景気の減速から、計画の繰り延べなど慎重になる動きが見られ、明るい材料に欠ける状況との声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億4,400万円（前年同月比 0.5%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが29億8,500万円（同 3.4%増）で、国内向けが26億5,900万円（同 2.6%減）となった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,146台（同 10.2%増）となった。機種別では、アップライトピアノが2,080台（同 16.5%増）、グランドピアノが1,066台（同 0.4%減）となった。また、販売台数は、輸出向けが2,312台（同 24.0%増）、国内向けが1,169台（同 5.4%減）となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、2,257千ト（前年同月比 0.3%減）で、4か月連続で、前年実績を下回った。内訳は、紙は1,276千ト（同 2.5%減）で、24か月連続で前年実績を下回り、板紙は981千ト（同 2.7%増）で、2か月連続で、前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、712千ト（同 3.8%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、163千ト（同 3.3%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶 詰・飲 料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,007千箱（前年同月比 8.6%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は698千箱（同 1.4%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は504千箱（同 3.5%減）と、11か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は308千箱（同 40.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,176千箱（同 2.9%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、1,462千㎡（前年同月比 3.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,405千㎡（同 2.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、別珍・コールトンの生産は、57千㎡（同 22.3%減）で5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、37千㎡（同 1.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、69億4,726万円（前年同月比 8.9%減）と前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、474億81万円（同 5.7%増）と9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>
小 売 業	<p>3月の県内百貨店の売上高は、月を通じて不安定な気温の影響、冷え込みにより主力の衣料品の動きが鈍くなったこともあり、前年比2.6%減と前年を下回る結果となった。</p> <p>商品別(部門別)では化粧品が同8.7%増と好調を継続、また食料品全体も同1.5%増で前年を上回るも、衣料品の同7.9%減の不振を挽回するには至らなかった。</p> <p>4月の食品スーパーへの聞き取りでは、景況は横ばいだった。東部地域の店舗では、相場安のため青果の単価が低くなったことや、鮮魚に関して地物で良質なものが獲れない上に、他地域産のものは売れにくく苦戦していることから、生鮮食品が低調であるという声も聞かれた。</p> <p>県は「ふじのくに魅力ある個店」登録制度の登録店・市町・商工団体・商業者等を対象に、商業活性化フォーラム「個店の元気がまちの活力だ！」を3月に開催した。ローカルファーストの視点から地域における魅力ある個店の必要性や役割を説いた講演の後、商業活性化のための先進事例の紹介を行い、参加者それぞれが主体的に取組を推進するための仕組みやノウハウの共有を図った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約50万人で、前年同月比6.9%増となった。増加の要因としては、新東名高速道路の浜松いなさ～豊田東JCT間が2月中旬に開通したことや平年より温暖な気候で日照時間が多かったことが考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約76万台となっており、前年同月に対してほぼ横ばいとなった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	17,148	15,097	18,771	19,604	17,245	18,593	20,329	22,973	22,614
前年同月比(%)	▲12.3	▲8.1	▲7.6	▲22.5	▲21.9	▲14.6	2.7	8.5	4.8
KD輸出額(百万円)	913	708	794	1,018	724	922	740	719	706
前年同月比(%)	▲17.8	▲26.0	▲37.3	▲36.8	▲37.1	▲22.8	▲34.4	▲28.8	▲31.5

<楽器>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	4,255	3,254	3,696	4,138	3,654	3,667	3,349	3,607	3,821
前年同月比(%)	▲10.6	▲2.4	▲4.0	7.6	6.6	5.8	▲1.0	5.5	4.4

<缶詰>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	1,008	859	910	976	968	882	835	849	1,015
前年同月比(%)	3.9	▲1.8	4.2	8.1	12.7	16.8	5.7	▲4.5	8.6
うち水産缶詰(%)	5.2	4.0	10.3	6.8	11.2	16.0	3.8	▲0.9	▲1.4
農畜産缶詰(%)	▲0.1	▲19.0	▲14.5	12.4	18.1	19.3	11.1	▲13.0	40.9
飲料缶生産高(千ケース)	8,637	7,172	7,133	6,316	6,770	6,466	4,321	5,128	7,176
前年同月比(%)	▲3.5	▲12.5	15.6	1.0	▲2.5	▲1.9	▲12.6	▲1.4	2.9

<繊維>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	1,149	1,098	1,348	1,515	1,796	1,749	1,613	1,447	1,462
前年同月比(%)	▲1.7	0.3	3.7	5.9	13.7	13.9	11.7	▲4.1	▲3.7
小幅織物(千㎡)	36	33	39	40	41	39	33	37	37
前年同月比(%)	▲8.9	▲15.7	▲6.2	5.0	14.4	5.4	▲9.0	▲4.0	▲1.6

<観光>

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
観光施設(10施設)入込 (千人)	304	544	477	460	394	261	282	261	500
前年同月比(%)	16.6	▲3.6	10.2	28.7	▲1.7	19.4	11.8	7.0	6.9
有料道路(5路線)通行量 (千台)	709	847	692	692	687	701	647	682	760
前年同月比(%)	1.0	0.7	2.0	6.6	▲1.4	4.0	3.9	12.5	0.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成28年5月号 通巻481号

発行 静岡県経済産業部
平成28年5月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>